



令和16年（2034年度）第88回国民スポーツ大会開催準備事業

競技者ジュニア発掘等推進事業 事業報告書

株式会社沖縄ウィメンズスポーツクラブ
株式会社RPLUSLab 共同企業体



目次

1-1.事業の基本方針	2P	6-1.成果と課題	23P
1-2.事業概要	3P	6-2.今後必要と考える取組みについて	24P
2-1.1次選抜及び運動能力測定	4P	7.事業総括	25P
2-2.スポーツ能力測定方法について	5P	8.参加者アンケート結果	26P-33P
2-3.最終選抜児童について	6P-7P		
2-4.スポーツ能力測定会での参加者フィードバック	8P		
3-1.育成プログラムの基本方針	9P		
3-2.育成プログラム実施概要	10P		
3-3.育成プログラム	11P-19P		
3-4.育成プログラム出席状況	20P		
4.実施体制	21P		
5.募集告知について	22P		

基本方針

第2期スポーツ推進計画では「スポーツアイランド沖縄」の形成に向けて、国内外で活躍するトップアスリートの輩出を目標の1つとしています。

その実現に向け、「県民等が主体的に参画するスポーツ環境の整備」を進める施策1つとして、県民の競技力向上及びスポーツ活動の推進が掲げられており、成果指標として県出身日本代表スポーツ選手累計数増加と国民スポーツ大会男女総合順位の向上が目標値として設定されています。

令和8年度での目標値達成および10年後に沖縄県で開催予定の国民スポーツ大会での上位順位を目指すとともに、国内外で活躍するアスリートを輩出するためには**幼少期からの基礎運動能力向上と県内競技団体と連携した継続的な強化・育成の仕組みづくり**が必要であると考えています。

現状・課題

- スポーツを行う児童生徒の減少
- 競技参加における地域的制約、スポーツと触れ合う機会が少ない
- 県出身日本代表スポーツ選手累計数
現在：133名 ⇒ 令和8年度目標：228名
- 国民スポーツ大会男女総合順位の低迷
現在：42位 ⇒ 令和8年度目標：30位台前半

今後必要な取組み

- 幼少期でのスポーツ体験・運動能力向上の機会創出
- 県内トップアスリート所属競技団体と連携し受け皿の整備・拡大
- 小学生～社会人までの一貫した指導体制の構築
- 指導者の養成及びキャリアパスの設計
- 県外・海外チーム招聘等による強化・育成環境の整備

本事業での提供価値

1. 小学生年代での基礎運動能力向上の機会を創出し、競技者ジュニア育成スキームの構築
2. 県内競技団体との連携による、競技参加しやすい環境づくり及び継続的な強化・育成
3. トップアスリート及び有識者による専門性の高い育成プログラムの提供

世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」形成の推進

目的

- 1 運動能力のポテンシャルが高い子どもたちを選抜し、トップアスリートや有識者による専門的な育成プログラムを提供
- 2 県内競技団体と連携し、競技体験を通して各競技への興味関心を引き出し、スポーツ参画への導線づくりを行う
- 3 育成プログラムを通して、継続的な競技者ジュニアの発掘及び育成の仕組みを構築

実施概要

1 新体カテスト×運動能力測定で運動能力の高い児童を発掘

新体カテストで測定されない基礎運動能力（バランス・体幹、視覚反応、アジリティ・ジャンプ）を測定し、基礎運動能力の高い児童を効果的に選抜。参加児童の各々の能力の特性（長所と短所）をフィードバック。



2 アスリート育成に必要なココロとカラダを育てるプログラム提供

トップアスリートや有識者による専門的な指導プログラムを提供し、アスリート育成に必要な心・技・体の基本を学ぶ機会を創出。また、県内競技団体と連携し様々なスポーツ体験の場を設けることで子どもたちのスポーツへの興味関心を高める。



2-1.1次選抜及び運動能力測定

1. 新体カテスト結果に基づき能力の高い児童を選抜

- ①10月20日締切：本プロジェクトの参加児童を募集
参加申込はスポーツ能力発見協会の専用サイトより、「新体カテスト」結果の登録と参加申込を実施
1次申込：290名
- ②10/24(金)：1次選抜通過者へ運動能力測定会への参加通知
新体カテストの結果をもとに運動能力が高い児童を選抜し、運動能力測定への案内
1次選抜通過者：232名

2. 1次選抜児童へのスポーツ能力測定会による最終選抜

- 2026年11月9日(日)10：00～17：00 @沖縄県体協会館2F体育館
1時間1コマ／最大35組の測定を実施。
新体カテストの項目にない4種目の測定を行い、フィードバックを実施。
測定会参加者：207名



①ジャンプ

走る・跳ぶ・一瞬の素早い動きなどに必要な「ジャンプ力」の能力を測定します。



②リカバリーバランス

片足で立つ動きと、体勢を崩して元に戻る「バランス力」を測定します。



③視覚反応&ステップ

目から得た情報に対して、素早く動き出すまでの「反応力」と、「ステップ」の能力を測定します。



④切り返し走

目から得た情報に対して、素早く動き出すまでの「反応力」と、「ステップ」の能力を測定します。

■スポーツ能力測定 測定方法

新体力テストで計測しない以下4種目の測定を実施し、即データ化。
参加者に計測機器を身に着けさせたうえで、6万人以上のデータをもとに
バランスチャートでの分析・フィードバックを行った。

<リカバリーバランス>

OptiTrack社モーションキャプチャシステムを用いて、リンドバーグ社のバ
ランスマットの上で10秒間の片足立ちを行い、足首の外側（外踝あたり）に
マーカーを付け片足立ちを行っている間の軌道を計測する。

<視覚反応ステップ>

OptiTrack社モーションキャプチャシステムを用いて、靴のつま先あたりに
マーカーを付け、PCの画面に向かって準備させる。

PCにサッカーボールの絵が出てきたらその場で10秒間のステップングテス
トを行う。

サッカーボールの絵が出てきてからつま先を動かし始めるまでのタイムと10
秒間のステップ数を計測する。

<ジャンプ>

OptiTrack社モーションキャプチャシステムを用いて、垂直跳びの高さを計
測する

立位の腰の位置を0として、手の反動を使わないために腰に手をあてて、垂
直跳びを行う。

<敏捷性（切り返し走）フロアジリティ>

OptiTrack社モーションキャプチャシステムを用いて、2.5m→5m→2.5mの
切り返しタイムを計測する。

任意のタイミングでスタートし、切り返しは足で切り返します。切り返し方
向は指定しない。

■スポーツ能力測定 評価項目

各種目の測定から得られる
「10」の評価項目

短持久力	レベル
敏捷性	タイム（s）
視覚反応力	タイム（s）
ステップ力	回数（回）
ジャンプ力	距離（cm）
バランス（右）	軌跡（cm）
バランス（左）	軌跡（cm）
バランス（左右差）	軌跡（cm）

2-3.最終選抜児童について

新体カテスト及びスポーツ能力測定結果に基づき、総合順位上位40名を1期生として選抜

11月16日に最終選抜結果を通知。以下リストが最終選抜児童。

小学3年生：15名（男子10名／女子5名）

小学4年生：25名（男子9名／女子16名）

■ランク1位～20位

Rank	申込者氏名 (性別)	学年	新体力測定データ-2次選考会データ																
			総合得点	ジャンプ レベル	ジャンプ:敏捷性 レベル	敏捷性:レベル	視覚反応 レベル	視覚反応 レベル	ステップ レベル	ステップ:左足 レベル	バランスカ (左足)	バランスカ 右足レベル	バランスカ (右足)	バランスカ (左右差): レベル					
1		女性 小学校4年生	66	33	5	38.62	5	3.38	4	0.38	4	98	5	20.8	5	22.89	5		
2		女性 小学校4年生	59	33	5	37.22	5	3.27	4	0.34	4	102	5	21.67	5	18.45	5		
3		女性 小学校4年生	69	32	4	33.29	5	3.36	4	0.37	4	101	5	21.08	5	20.6	5		
4		男性 小学校4年生	64	32	3	33.07	5	3.23	4	0.39	5	110	5	21.4	5	22.05	5		
5		男性 小学校4年生	77	31	4	34.19	4	3.42	4	0.37	4	97	5	19.1	5	23.03	5		
6		女性 小学校4年生	63	31	3	29.04	5	3.34	4	0.38	4	93	5	13.59	5	16.99	5		
7		女性 小学校4年生	63	31	4	33.63	5	3.42	3	0.47	4	98	5	15.9	5	19.32	5		
8		女性 小学校4年生	63	31	4	35.15	4	3.42	4	0.41	4	96	5	23.13	5	19.64	5		
9		女性 小学校4年生	61	31	4	33.11	4	3.54	4	0.4	5	105	5	21.39	5	28.33	4		
10		女性 小学校3年生	60	31	3	30.47	5	3.42	4	0.41	4	98	5	22.04	5	20.02	5		
11		男性 小学校3年生	57	31	3	29.02	5	3.41	4	0.43	4	100	5	28.66	5	24.42	5		
12		男性 小学校4年生	53	31	4	32.4	5	3.28	3	0.49	4	103	5	13.67	5	18.29	5		
13		女性 小学校3年生	48	31	4	32.18	4	3.81	4	0.38	4	90	5	17.16	5	14.9	5		
14		女性 小学校4年生	66	30	3	29.72	5	3.26	3	0.44	4	101	5	13.37	5	17.07	5		
15		女性 小学校4年生	66	30	4	34.92	4	3.41	2	0.55	5	104	5	18.69	5	19.37	5		
16		男性 小学校4年生	62	30	4	34.33	4	3.73	4	0.43	3	88	5	24.32	5	27.27	5		
17		男性 小学校3年生	61	30	4	34.12	4	3.43	4	0.4	3	84	5	25.54	5	25.11	5		
18		女性 小学校4年生	61	30	4	33.92	4	3.79	4	0.42	3	78	5	22.78	5	23.74	5		
19		男性 小学校3年生	60	30	4	32.84	4	3.34	4	0.36	4	97	5	23.67	5	29.98	4		
20		女性 小学校3年生	59	30	5	36.45	4	3.86	3	0.45	4	91	5	29.5	5	19.9	4		

新体カテスト及びスポーツ能力測定結果に基づき、総合順位上位40名を1期生として選抜

11月16日に最終選抜結果を通知。以下リストが最終選抜児童。

■ ランク21位～40位

Rank	申込者氏名 (性別)	学年	新体力測定データ-2次選考会データ															
			総合得点	ジャンプ レベル	ジャンプ:敏捷性 レベル	敏捷性: レベル	視覚反応 レベル	視覚反応 レベル	ステップ レベル	ステップ: レベル	バランスカ 左足レベル	バランスカ (左足)	バランスカ 右足レベル	バランスカ (右足)	バランスカ (左右差): レベル			
21		男性 小学校4年生	59	30	4	33.68	4	3.54	4	0.4	4	97	4	30.54	5	27.61	5	
22		男性 小学校4年生	58	30	4	35.33	5	3.15	4	0.38	4	97	4	26.73	5	18.76	4	
23		男性 小学校4年生	55	30	3	30.92	4	3.45	4	0.43	4	103	5	24.94	5	26.93	5	
24		男性 小学校3年生	53	30	3	28.69	4	3.47	3	0.45	5	103	5	20.88	5	23.38	5	
25		男性 小学校3年生	52	30	3	31.16	4	3.47	3	0.49	5	114	5	23.81	5	25.23	5	
26		男性 小学校3年生	50	30	3	28.06	4	3.61	4	0.38	4	99	5	28.12	5	25.42	5	
27		女性 小学校4年生	46	30	3	28.29	4	3.57	4	0.43	4	90	5	19.35	5	17.25	5	
28		女性 小学校4年生	70	29	5	37.49	4	3.57	3	0.45	2	73	5	13.51	5	13.16	5	
29		女性 小学校4年生	68	29	3	29.17	4	3.5	3	0.45	4	94	5	23.06	5	22.2	5	
30		女性 小学校4年生	68	29	5	38.99	5	3.37	4	0.39	4	101	3	40.78	3	43.51	5	
31		女性 小学校4年生	67	29	3	29.52	4	3.67	4	0.41	3	88	5	24.4	5	24.99	5	
32		男性 小学校4年生	62	29	5	40.73	5	3.11	4	0.37	3	89	5	13.67	4	26.45	3	
33		男性 小学校3年生	61	29	4	32.85	4	3.42	3	0.46	5	110	4	30.1	5	24.41	4	
34		男性 小学校3年生	61	29	4	32.98	3	3.92	4	0.41	3	80	5	28.37	5	24.93	5	
35		女性 小学校4年生	61	29	4	31.33	4	3.67	3	0.57	3	79	5	24.86	5	23.48	5	
36		男性 小学校4年生	60	29	3	29.65	4	3.42	4	0.43	3	83	5	22.31	5	23.82	5	
37		女性 小学校3年生	59	29	5	34.03	4	3.66	3	0.48	2	61	5	16.64	5	18.56	5	
38		男性 小学校3年生	58	29	4	35.51	5	3.03	3	0.46	4	96	4	31.83	4	31.81	5	
39		男性 小学校3年生	58	29	3	29.49	4	3.59	3	0.45	4	99	5	17.71	5	12.88	5	
40		女性 小学校3年生	57	29	4	31.56	4	3.66	3	0.5	3	82	5	13.79	5	11.74	5	

2-4. スポーツ能力測定会での参加者フィードバック

1. スポーツ能力測定結果の全体フィードバック

測定参加組ごとに測定結果の全体フィードバックを実施。児童の現在地を保護者とともに確認し、継続的な運動習慣を家庭で行うことを啓蒙。

事後のフォローアップとして、参加者へDOSA公式サイトでの「マイページ」登録を案内し、測定結果、全国ランキングをいつでもどこでも閲覧が可能な仕組みを提供。あわせて、運動能力を伸ばすMy遊びを公式サイト・LINEpush通知で定期的に参加者へ配信し、家庭でも気軽にできる継続的な運動機会を提供。



2. アスリートパスウェイシステムへの登録案内

参加児童へアスリートパスウェイシステムのチラシを配布し、参加児童の登録促進を実施。

あわせてJ-STARプロジェクトの案内資料も配布し、参加児童が未来のアスリート発掘プロジェクトへ参加興味をもってもらうきっかけづくりとした。



ココロとカラダを育む、競技者ジュニア育成プログラムの3つの観点

1. カラダを知る、育てる

全てのスポーツにおいて必要とされる運動基礎能力の中でも、小学生年代で身に着けることが大切な「走力」「バランス感覚」「俊敏性」を育てるプログラム。



2. 楽しく、続ける

子どもの運動能力はトレーニングではなく、楽しい遊びや新たな経験で伸長する。はじめてのスポーツとの出会い、「あそび」を通したプログラムで楽しく、続ける仕組みづくり。



3. ココロを育て、整える

スポーツが楽しい、チャレンジしたい。子どもの向上心や探求心を育て、メンタルコントロールやスポーツマンシップを学ぶことで、アスリートの「ココロ」を育成。



3-2. 育成プログラム実施概要

実施期間：2025年11月22日(土)～2026年2月8日(日)

実施場所：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校、県内体育施設

1. 身体・知的プログラム

体の動かし方やバランス感覚を高めるプログラムを通して、各競技に活かせる体づくりを支援。トップアスリートに必要な体力、知識、メンタルなど習得できる機会として提供。

また、競技体験会を通して、様々な競技に触れる機会を設け、児童の興味関心の幅を広げる機会とした。

2. 保護者プログラム

スポーツをする子どもたちを「ささえる」保護者向けに、スポーツ栄養セミナーや一緒に参加できるプログラムの実施、児童のプログラム体験の様子を間近で見学できる機会を構築。家庭でのサポートやフィードバックに活かしてもらおうきっかけづくりを行った。

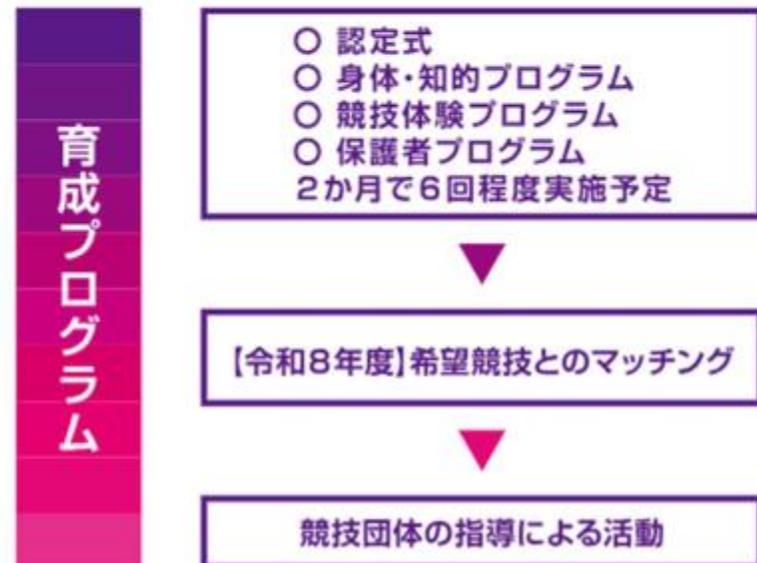
3. 実施期間を通じたマッチング

競技体験会を実施し、児童の適性や興味関心に応じて各スポーツ団体とのマッチングを実施。

スポーツ体験会を実施した各スポーツ協会と問い合わせ児童の紹介を行った。

育成プログラム(全6回/各回90分～120分)

「カラダを知る、育てる」「楽しく、続ける」「ココロを育て、整える」をテーマにトップアスリートに必要な能力や知識を見つけるためのプログラムです。



第1回：2025年11月22日(土)10：00～15：00
実施場所：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校

1. ライフキネティック (10：00～12：00)

講師：上里一将氏 (元プロサッカー選手)

カラダを動かしながら、脳も刺激する新感覚トレーニングを遊び感覚で楽しく取り組める内容で実施。集中力や判断力、反応力など考えて動く力を育成。



2. 遊びを通して運動能力UP (13：00～15：00)

講師：(一社)スポーツ能力発見協会

幼少期に土台作りが必要な運動基礎能力を運動遊びを通して身に着けるプログラムを実施。日常にあるものを使い、自宅でも継続実施ができるメニューを行い、運動習慣化を図る。



第2回：2025年12月7日(日)9：30～15：00
実施場所：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校

1. スポーツマンシップに学ぶ（10：00～12：00）

講師：中村聡宏氏（日本スポーツマンシップ協会代表理事）

「スポーツマンシップ」の考え方、行動・言動について、クイズ形式で子どもたちとコミュニケーションをとりながら講義を展開。自発的に発表する姿が多く見受けられた。



2. 非認知スキル向上プログラム（13：00～15：00）

講師：知念悟氏（OPEN UP！SPORTS）

事前に子どもたちの特性を診断し、タイプ別の非認知能力を知ることと、その能力を最大限に活かしながら運動遊びを体験。グループワークで児童の気づきを言語化させ、意識づけを行った。



第3回：2025年12月21日(日)9：00～13：00

実施場所：沖縄県立武道館（奥武山公園内）

1. ボルダリング体験

講師：山岳クライミング協会

ボルダリングの登り方を説明後、1人ずつレクチャーしながら実技指導を実施。



2. ウェイトリフティング体験

講師：ウェイトリフティング協会

基本姿勢やウェイトを実際に持ち上げる体験を実施。最後には映像を用いて、競技の魅力を児童へ伝えた。



児童を2班編成にし、時間制で競技体験の入れ替えを実施。全児童がじっくり競技体験ができるよう時間確保を行った。

<実施スケジュール>

■2025年12月21日（日）				
A班20名／B班20名で構成				
①	ボルダリング	県立武道館 クライミングウォール	A	09:15～10:45
			B	11:15～12:45
②	ウェイトリフティング	県立武道館 トレーニングルーム	B	09:15～10:45
			A	11:15～12:45

A班				
1種目	09:15～10:45	ボルダリング	クライミングウォール	
2種目	11:15～12:45	ウェイトリフティング	トレーニングルーム	
B班				
1種目	09:15～10:45	ウェイトリフティング	トレーニングルーム	
2種目	11:15～12:45	ボルダリング	クライミングウォール	

第4回：2026年1月10日(土)9：30～15：00

実施場所：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校

1. カラダの仕組みと運動能力UP（10：00～12：00）

講師：桜井智野風氏（桐蔭横浜大学教授）

走る、飛ぶ、投げる、バランスの運動基礎能力とカラダの仕組みについて講義。講義後、運動基本動作を測定し、運動機能の変化について実技を通して学んだ。親子で体感する機会とした。



桜井智野風先生
カラダひみつと運動能力UP



2. 足が速くなる！走り方講座（13：00～15：00）

講師：譜久里武氏（アスリート工房）

譜久里氏による講話を約30分実施し、トップアスリートとして活躍する背景を学んだ。その後、足が速くなるコツを学ぶ実技指導を行い、スプリントの基本動作を習得した。



第5回：2026年1月24日(土)10：00～15：00

実施場所：沖縄県総合運動公園（レクドーム）

1. ホッケー体験

講師：ホッケー協会

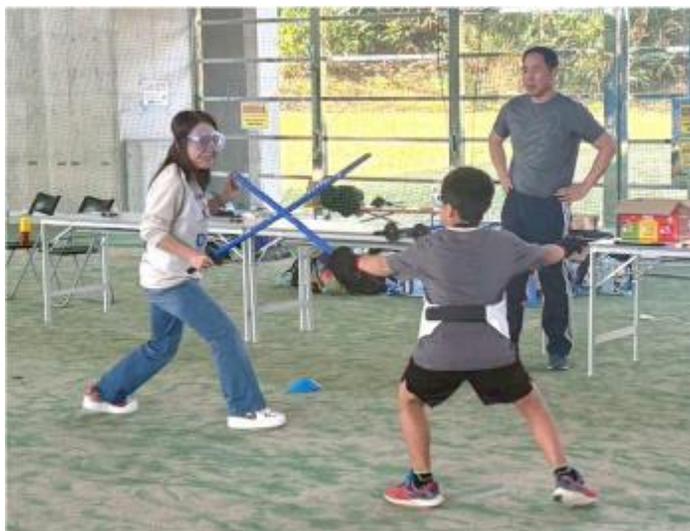
ホッケーの基礎練習や道具の使い方のレクチャーを約1時間行い、ミニゲームを実施し、交流を行った。



2. フェンシング体験

講師：フェンシング協会

映像を用いて、フェンシング競技について児童へ説明。道具の使い方や基礎練習を約30分行い、その後スマートフェンシングで模擬体験を実施。



3. アーチェリー体験

講師：アーチェリー協会

児童へ安全管理や道具の使い方、基本姿勢のテクチャーを約30分実施。その後、1人ずつ的当てや風船割を体験。



各競技体験の指導者が対応可能な人数をベースに、児童を4班編成にし、時間制で競技体験の入れ替えを実施。

<実施スケジュール>

■2026年1月24日 (土)				A班				
A班10名/B班10名/C班10名/D班10名で構成				1種目	10:00~12:00	ホッケー	レクレーションドーム	
③	ホッケー	県総合運動公園 レクレーションドーム	A・B	10:00~12:00	2種目	13:00~13:40	アーチェリー	レクレーションドーム
				休憩	3種目	14:10~15:00	フェンシング	レクレーションドーム
			C・D	13:00~15:00				
				B班				
④	アーチェリー	県総合運動公園 レクレーションドーム	C	10:00~10:40	1種目	10:00~12:00	ホッケー	レクレーションドーム
			D	11:20~12:00	2種目	13:00~13:50	フェンシング	レクレーションドーム
				休憩	3種目	14:20~15:00	アーチェリー	レクレーションドーム
			A	13:00~13:40				
			B	14:20~15:00				
				C班				
⑤	フェンシング	県総合運動公園 レクレーションドーム	D	10:00~10:50	1種目	10:00~10:40	アーチェリー	レクレーションドーム
			C	11:10~12:00	2種目	11:10~12:00	フェンシング	レクレーションドーム
				休憩	3種目	13:00~15:00	ホッケー	レクレーションドーム
			B	13:00~13:50				
			A	14:10~15:00				
				D班				
				1種目	10:00~10:50	フェンシング	レクレーションドーム	
				2種目	11:20~12:00	アーチェリー	レクレーションドーム	
				3種目	13:00~15:00	ホッケー	レクレーションドーム	

第6回：2026年2月8日(日)9：00～15：00

実施場所：午前：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校／午後：泊小学校

第1回プログラムで実施した際のスペース確保の課題から、児童を2班編成にし十分なスペースを確保したうえで2プログラムを開催。1時間ごとに児童の入れ替えを行い、両プログラムを効果的に体験できる方法で実施した。

1. ライフキネティック (9：00～11：00)

講師：上里一将氏 (元プロサッカー選手)

カラダを動かしながら、脳も刺激する新感覚トレーニングを遊び感覚で楽しく取り組める内容で実施。集中力や判断力、反応力など考えて動く力を育成。



2. 遊びを通して運動能力UP (9：00～11：00)

講師：(一社)スポーツ能力発見協会

幼少期に土台作りが必要な運動基礎能力を運動遊びを通して身に着けるプログラムを実施。日常にあるものを使い、自宅でも継続実施ができるメニューを行い、運動習慣化を図る。



第6回：2026年2月8日(日)9:00～15:30

実施場所：午前：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校／午後：泊小学校

3. スポーツ栄養セミナー（11:00～11:50）

講師：友利由希氏（ロクト整形外科管理栄養士）

スポーツチームのサポートをする管理栄養士による、年代に応じた栄養摂取や体のサポートについて親子向けに講義を実施。保護者も参加し、児童のサポート方法なども学ぶ機会を提供。



4. スポーツ能力測定（13:00～15:00）

講師：（一社）スポーツ能力発見協会

6種目の運動能力測定を行い、育成プログラムを通して変化があったか、児童の現状を可視化するために実施。数値化することで、運動継続の意識向上や自身の強み・弱みを理解するきっかけづくりとした。



第6回：2026年2月8日(日)9:00~15:30

実施場所：午前：三幸学園沖縄リゾート&スポーツ専門学校／午後：泊小学校

5. 修了式 (15:00~15:30)

<式次第>

- ・ 育成プログラムの振り返り
- ・ 沖縄県国スポ・全スポ準備室 室長挨拶
- ・ 修了証書授与式 (全児童対象)
- ・ 参加児童代表挨拶 玉城朱莉さん
- ・ 次年度に向けた本プロジェクトのご案内
- ・ 記念撮影

■ 修了証書授与



■ 参加児童代表挨拶



3-4.育成プログラム出席状況



育成プログラム
平均出席率：93%

<各回出席率>

第1回出席率：95%

第2回出席率：90%

第3回出席率：97.5%

第4回出席率：95%

第5回出席率：97.5%

第6回出席率：82.5%

※最終回は競技大会参加等
での欠席者が多数あり。

	申込者氏名 (漢字・フルネーム)	性別	学年	11月22日	12月7日	12月21日	1月10日	1月24日	2月8日
1		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
2		女性	小学校4年生	○	NS	○	○	○	○
3		女性	小学校4年生	○	欠席	○	○	○	○
4		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
5		男性	小学校4年生	体調不良	○	○	○	○	欠席
6		女性	小学校4年生	○	体調不良	○	○	NS	○
7		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
8		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
9		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
10		女性	小学校3年生	欠席	○	○	欠席	○	○
11		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
12		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
13		女性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
14		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	欠席
15		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
16		男性	小学校4年生	○	○	○	欠席	○	○
17		男性	小学校3年生	○	NS	○	○	○	○
18		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	欠席
19		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
20		女性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
21		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
22		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
23		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
24		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
25		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
26		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
27		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
28		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
29		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
30		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
31		女性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
32		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
33		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
34		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	欠席
35		女性	小学校4年生	○	○	欠席	○	○	欠席
36		男性	小学校4年生	○	○	○	○	○	○
37		女性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○
38		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	欠席
39		男性	小学校3年生	○	○	○	○	○	体調不良
40		女性	小学校3年生	○	○	○	○	○	○

<凡例>

NS=連絡なし

欠席 = 競技大会参加などで欠席

体調不良 = 体調不良欠席

株式会社沖縄ウィメンズスポーツクラブ・株式会社RPLUSLab共同企業体とこれまで連携して様々なスポーツイベントを取り組んできた団体・企業と協働して本事業を実施。

株式会社沖縄ウィメンズスポーツクラブ・株式会社RPLUSLab共同企業体



沖縄県勢初の「なでしこリーグ」参入を目指す女子サッカークラブ「琉球デイゴス」を運営。県内の子ども達がスポーツと触れ合う機会としてスポーツクリニック等を開催。

- 琉球デイゴススポーツクリニック企画運営
- 離島でのスポーツクリニック開催
- 他競技と連携したスポーツイベント企画運営



県内スポーツイベントの企画運営のほか、様々な事務局運営のノウハウ・実績があり、琉球デイゴスとスポーツイベント等協働で実施してきた。

- てだこウォーク企画運営・PR業務
- オキナワモーターショー2023プロデュース
- 沖縄県・市町村の業務受託実績多数



スポーツビジネスを核とした各種戦略策定、コンサルティングをはじめ、スポーツビジネスマネジメント企業。スポーツ関連の有識者とのコネクションを活かし、セミナー開催などを企画。

株式会社沖縄スポーツマネジメント

沖縄県のスポーツ振興と県内で活躍するアスリートの支援を行う。各種競技のさまざまなアスリートが所属し、セカンドキャリアサポートや県内各地でのスポーツ普及イベントを行っている。



全国6万人を超えるデータをもとにしたスポーツ能力測定会を全国で実施するほか、子どもの基礎運動能力向上プログラムの提供やアスリートの能力向上支援を行っている。

■ 沖縄ジュニアアスリートプロジェクト告知方法

① チラシ30,000枚を作成・配布

右記のチラシを作成し、県内教育事務所を通して沖縄本島の小学3・4年生へ配布。
学校ごとに仕分けをし、以下教育事務所へ配布協力いただいた。

- 那覇教育事務所管轄の小学校
- 島尻教育事務所管轄の小学校 ※離島地区は除く
- 中頭教育事務所管轄の小学校
- 国頭教育事務所管轄の小学校 ※離島地区は除く

未来のトップアスリート ことから始まる
1期生募集！
参加費 無料

対象：沖縄県内在住の小学3年生・4年生
沖縄ジュニアアスリートプロジェクト

【育成プログラム(全6回・各回90分～120分)】
「カラダを知る、育てる」「美しく、続ける」「知識を育て、磨く」をテーマにトップアスリートに必要な能力や知識を身につけるためのプログラムです。

【育成プログラム(全6回・各回90分～120分)】
「カラダを知る、育てる」「美しく、続ける」「知識を育て、磨く」をテーマにトップアスリートに必要な能力や知識を身につけるためのプログラムです。

【育成プログラム(全6回・各回90分～120分)】
「カラダを知る、育てる」「美しく、続ける」「知識を育て、磨く」をテーマにトップアスリートに必要な能力や知識を身につけるためのプログラムです。

【育成プログラム(全6回・各回90分～120分)】
「カラダを知る、育てる」「美しく、続ける」「知識を育て、磨く」をテーマにトップアスリートに必要な能力や知識を身につけるためのプログラムです。

② スポーツ能力発見協会との告知連携

スポーツ能力発見協会のWEBサイトでの告知
昨年参加者等、情報登録者へ案内メールの送付

NEWS - お知らせ

沖縄ジュニアアスリートプロジェクト 第1期生選考会

【お申込み3ステップ】

ステップ1
下記、申込フォームにて選手情報をエントリー

ステップ2
下記、「IDOSAのMyページ」(無料)に登録

ステップ3
「IDOSAのMyページ」での学校で行った新規力テスト記録を登録

③ ランディングページおよびSNS等での情報発信

未来のトップアスリート ことから始まる

【育成プログラム】開催のご案内

第1回 / 11月22日(土)

ライフキネティック

講師：上原一樹氏(元プロサッカー選手)

遊びを通して運動能力UP

講師：(一社)スポーツ能力発見協会

【育成プログラム】開催のご案内

第1回 / 11月22日(土)

ライフキネティック

講師：上原一樹氏(元プロサッカー選手)

遊びを通して運動能力UP

講師：(一社)スポーツ能力発見協会

第1回・第2回・第4回・第6回 開催地

〒900-0011 沖縄県...
巨大地図を表示

第3回 スポーツ体験 開催地

沖縄県立武運館

〒900-0026 沖縄県那覇市美武山町5-2

<https://junior-athletes.okinawa/>

【成果】**① 発掘・選抜モデルの確立**

290名応募 → 207名測定 → 40名選抜のスキーム構築（新体力テスト＋4種目独自測定による数値的選抜の実施）

② 運動能力の可視化・フィードバック体制の構築

測定結果のフィードバック及びマイページ登録による継続アプローチ環境を整備
再測定時に初回測定結果も配布し、比較及びフィードバックを実施

③ マルチスポーツ体験の効果実証

未経験競技への高い参加意欲と満足度、個人競技含む複数競技体験機会創出できた

④ トップアスリート・有識者による質の高い指導

専門性の高い講師陣による指導やスポーツマンシップ・非認知能力向上プログラムなど座学と実技を掛け合わせ相乗効果
保護者向け栄養セミナー等の実施

⑤ 高い参加継続率

平均出席率93%、参加者・保護者満足度が高い、次年度継続希望多数あり

⑥ 競技団体とのマッチング

育成プログラム参加者を競技団体とのマッチングができた（ウエイトリフティング）

【今後の課題】**① 継続育成スキームの未整備**

単年度事業で終わらせず、中長期的な継続プログラムの整備が必要。選抜後の長期育成導線が未確立である。

② 適性マッチングの深化不足

測定結果に基づく具体的競技提案の要望あり、競技実施へ繋ぐためのアドバイスを充実させることが必要。

③ 地域展開の偏り

開催地の固定をしたため限定的となっていた。北部・中部・離島展開の検討必要

④ 運営面の改善点

会場スペースの見直し、保護者観覧スペース不足

一部体験での公平性課題（スポーツ体験時の体験回数や時間の配慮）

欠席者フォロー体制未整備（当日欠席した児童へのフォローアップや事後動画配信など対応策の検討）

⑤ 情報発信体制の強化必要

スケジュール周知や参加連絡等の方法をメール以外も検討

保護者への学習内容共有や見学スペースの確保

【今後の必要と考える取組み】

① 早期年代への拡張

未就学児対象キャラバン型プログラム（保育園・幼稚園との連携）
市町村と連携した親子でのスポーツ参加機会の創出など

② 学校との制度的連携

体力テスト結果を活用した推薦制度、教育委員会と連携したプログラムの周知

③ 競技団体横断プラットフォーム構築

トップアスリートとの交流を通じた体験会の定期開催
定期連絡会議等の実施による、競技団体の横断的な情報共有の場を構築
競技垣根を越えた強化体制

④ データの一元管理による育成モデル確立

スポーツ能力発見協会のシステムを活用した測定データの統合管理
成長分析レポート作成などを実施し、競技適正アドバイスの充実

⑤ 競技継続可能な就労プラットフォームの構築

2034年に向け、競技継続が可能な就労サポート環境の整備
競技者・指導者へのデュアルキャリア教育の推進による競技実施率の向上

【総括】

本事業は、「スポーツアイランド沖縄」の形成を見据え、将来本県を代表する競技者の発掘・育成基盤を構築することを目的として実施したものである。今年度は、新体力テスト結果およびスポーツ能力測定（ジャンプ・バランス・視覚反応・敏捷性）を組み合わせた科学的評価手法を導入し、客観的データに基づくジュニア発掘モデルを構築した。

応募290名のうち207名が測定会に参加し、総合評価に基づき40名を選抜、育成プログラムへ接続した。発掘から選抜、育成、再測定に至る一連のプロセスを初年度において確立できたことは大きな成果である。

育成プログラムにおいては、トップアスリートや専門有識者による指導のもと、身体能力の向上のみならず、スポーツマンシップ、非認知能力、栄養知識等を含む総合的育成を実施した。

平均出席率93%と高い参加継続率を維持し、参加児童および保護者双方から高い満足度が得られたことから、本プログラムの有効性が確認された。

また、県内競技団体との連携によるスポーツ体験を通じて、競技人口の裾野拡大および未経験競技への関心喚起という普及的成果も得られた。競技団体横断型の連携基盤を構築できたことは、今後の県内スポーツ振興における重要な財産となる。

一方で、課題も明確となった。第一に、発掘後の継続的育成体制の制度化が未整備であり、単年度型事業に留まらない中長期的育成モデルの構築が必要である。

また、測定結果に基づく競技適性の具体的提示や専門強化への接続体制の高度化が求められる。

その他、地域的偏在の解消、市町村連携の拡充、競技団体間の横断的協働体制の強化が今後の発展に不可欠である。加えて、運営面では会場環境の最適化、保護者連携強化、欠席フォロー体制整備等の改善が必要である。

以上を踏まえ、次年度以降は以下の方向性で事業を発展をさせていきたい。

発掘から育成までを接続する複数年型育成スキームの構築測定データを活用した競技適性マッチング制度を確立させるために、今年度実施プログラムの継続実施と1期生の競技団体への接続体制を整えることが必要と考える。

単なる体験型イベントではなく、沖縄県におけるジュニアアスリート育成エコシステム構築の第一歩として本プログラムの定着化と育成体制を確立させるためには競技団体と横断的に交流する機会も創出していく。

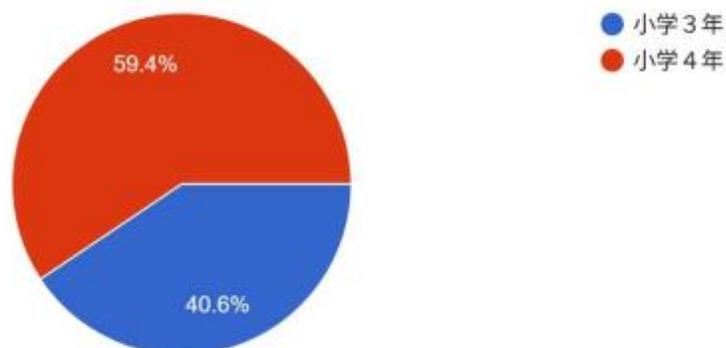
今後は、発掘モデルの実証成果を基盤とし、県全体で競技力向上を支える持続可能な育成体制へと発展させることで、将来的な国民スポーツ大会における競技力向上および国内外で活躍するアスリートの輩出に寄与することを目指す。

全プログラム終了後、選抜児童40名の保護者へアンケートを実施。メールでのリマインド配信を行い、アンケート回収を図った。アンケート回答率は80%となった。

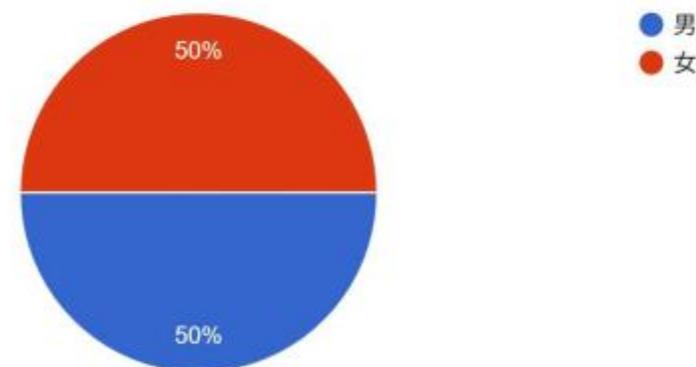
参加者総数：40名/アンケート回収数：32件（回答率：80%）

1. 参加者属性

参加児童の学年
32件の回答

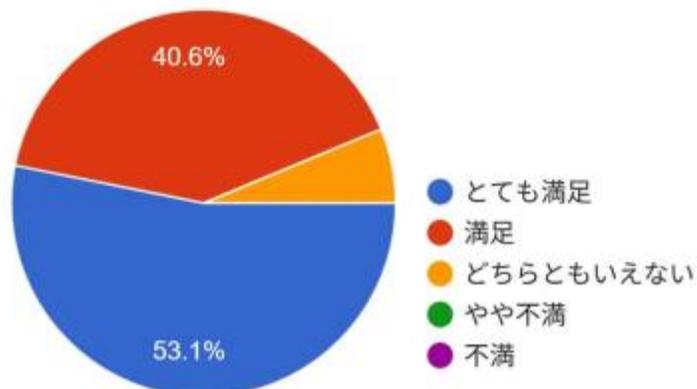


参加児童の性別
32件の回答

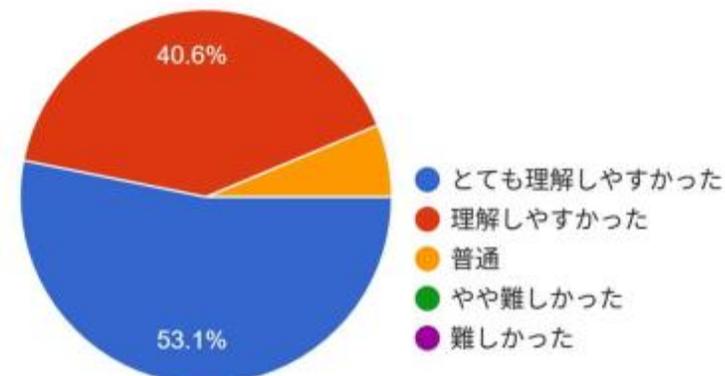


2. 参加児童アンケート

プログラム全体の満足度
32件の回答



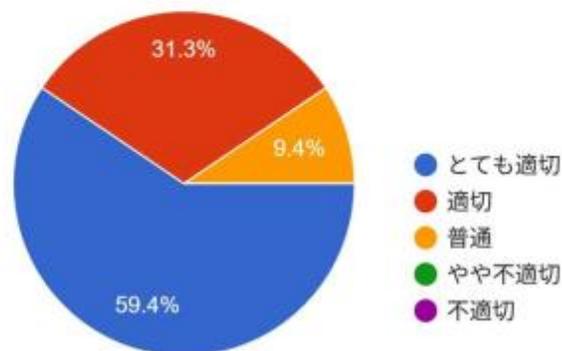
プログラム内容の理解しやすさ
32件の回答



8. 参加者アンケート結果

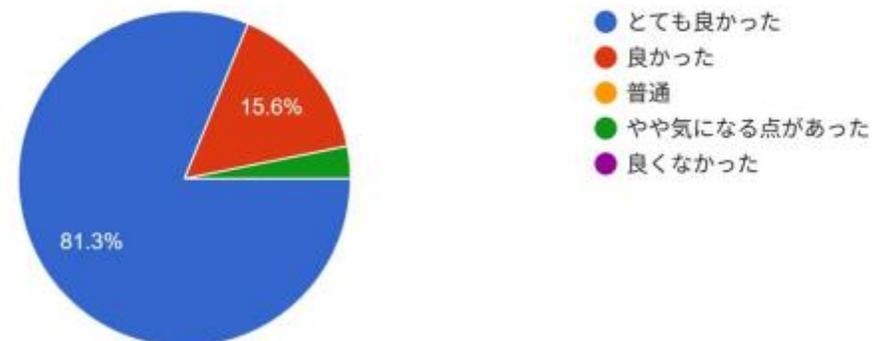
トレーニングの適切さ

32件の回答



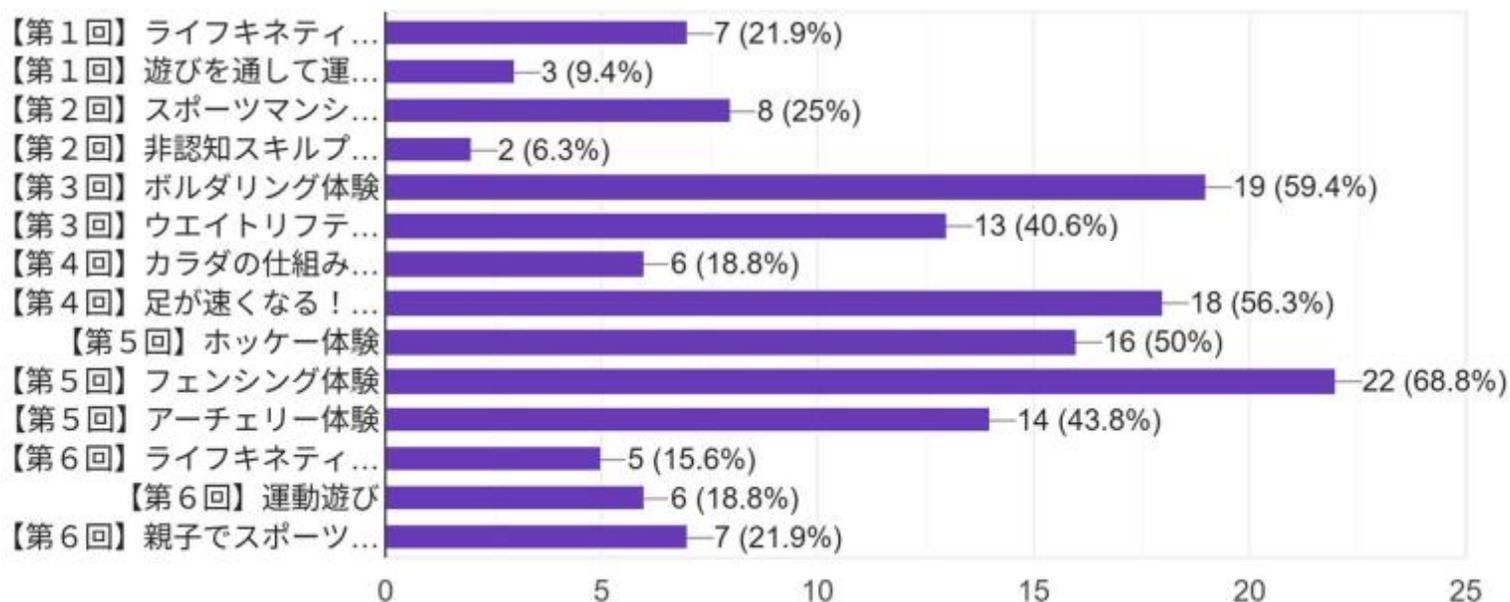
コーチ・スタッフの対応

32件の回答



育成プログラムで楽しかった内容を選択してください

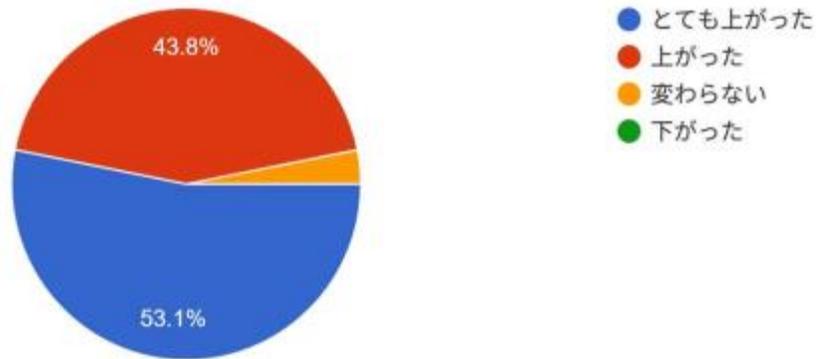
32件の回答



8. 参加者アンケート結果

プログラム参加後、運動やスポーツへの意欲は変わりましたか？

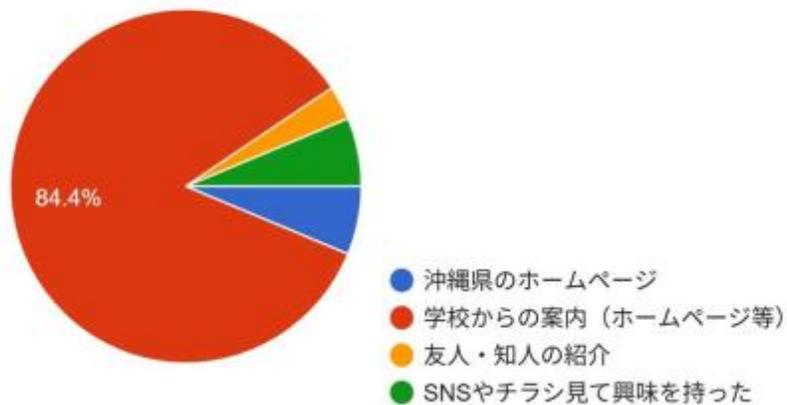
32件の回答



3.保護者へのアンケート

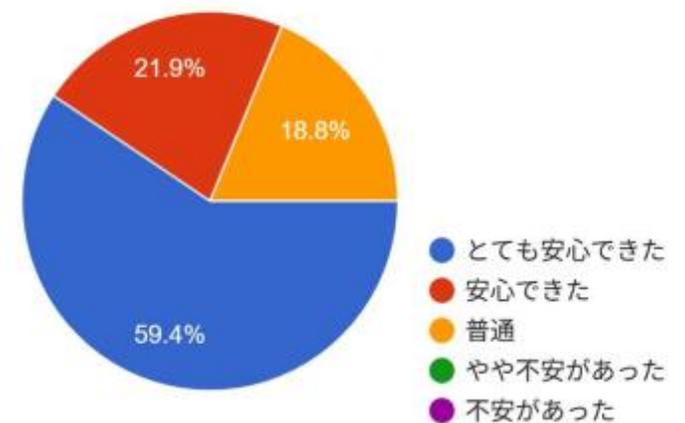
本プログラムを何で知りましたか

32件の回答



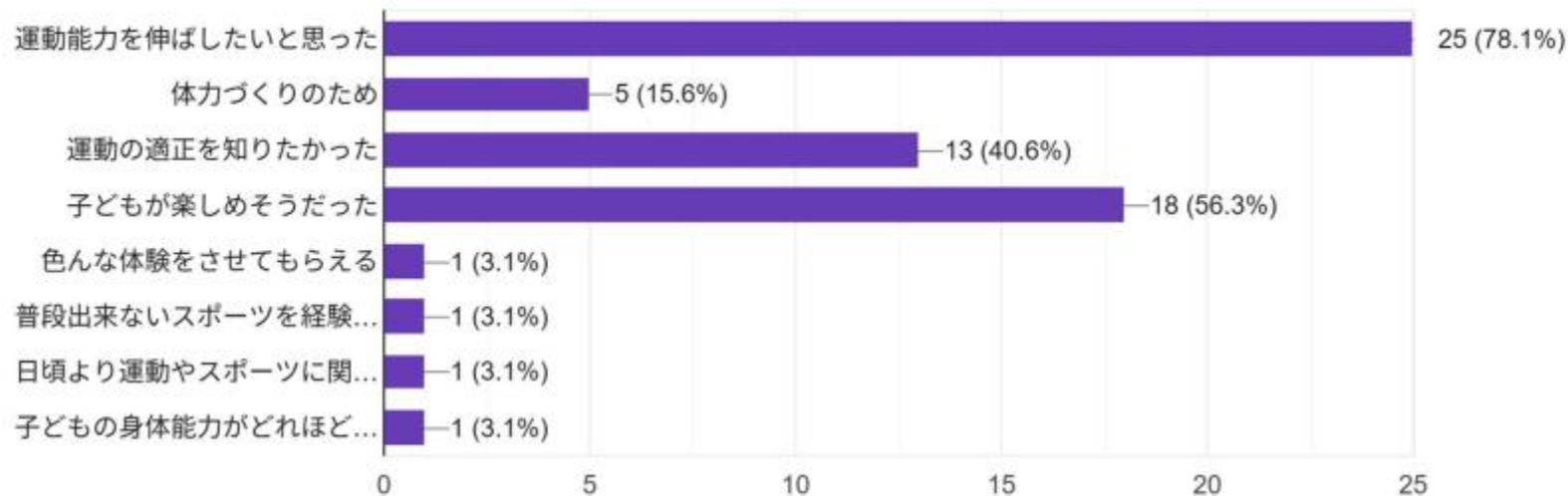
プログラムの安全管理について

32件の回答



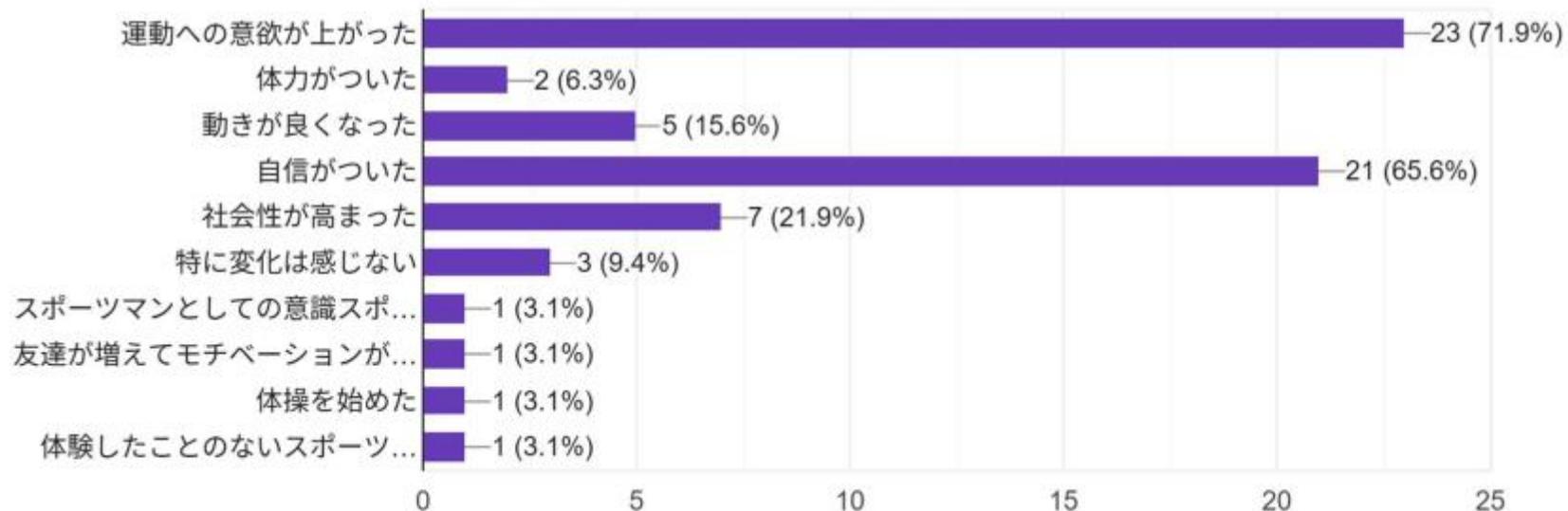
本プログラムに参加しようと思った理由を教えてください

32件の回答



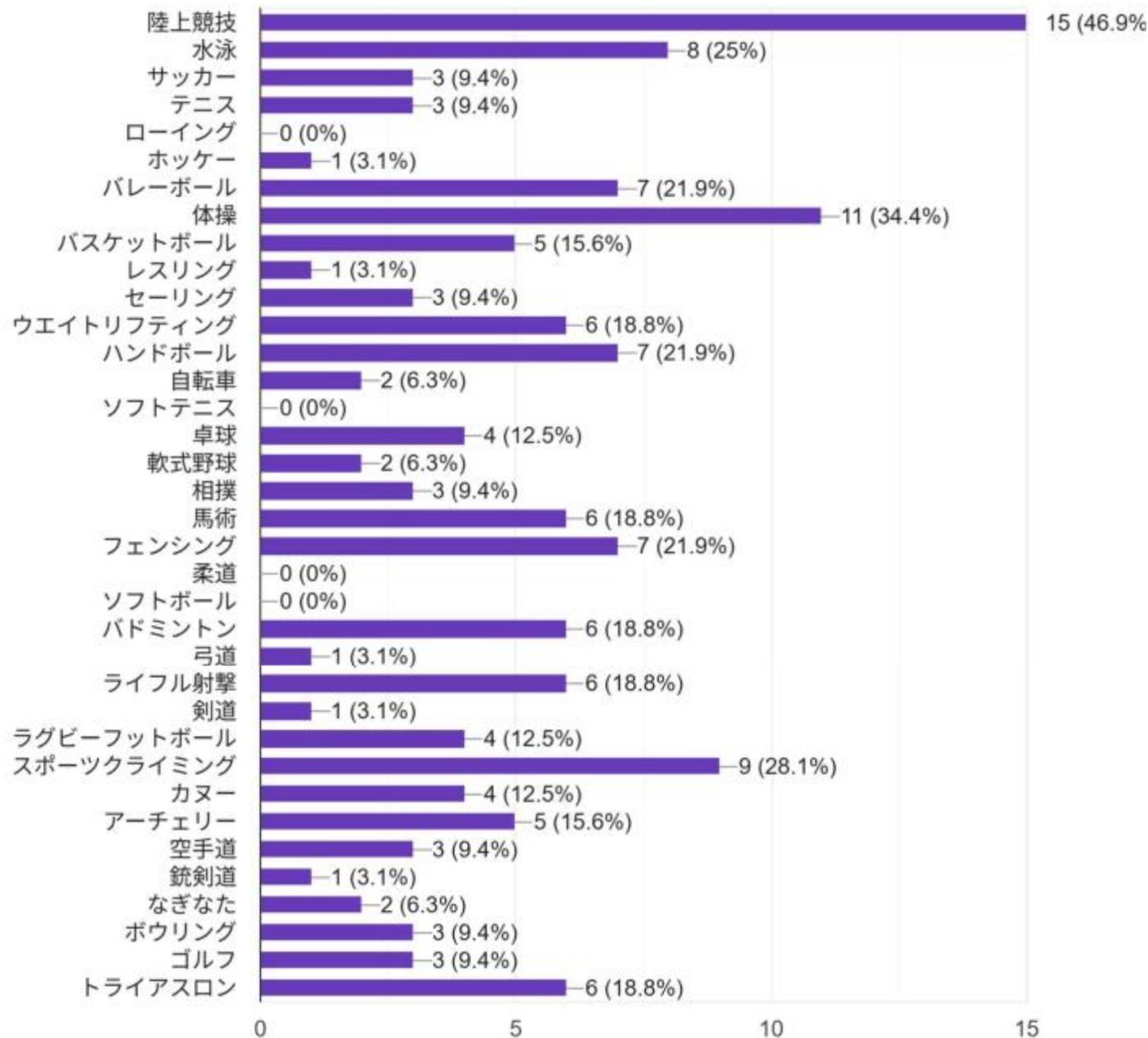
お子さまの変化について

32件の回答



8. 参加者アンケート結果

次年度の体験希望競技について、国民スポーツ大会正式競技の中から選択してください。



本プログラムでよかった点を教えてください

- ・色々な体験をさせてもらえてよかった、全てのプログラムが良かった。
- ・運動能力の高い子供たちと切磋琢磨しながら楽しく、いろんなスポーツを体験できて、いい刺激になりました！ぜひ来年度も開催してほしい。
- ・色々なスポーツの体験ができたことと、測定による数値化で強みがわかったところ。
- ・スポーツマンシップの考え方にとても興味を持ったようで現在行ってる競技の練習に対する向き合い方がとても良くなった。
- ・様々な競技体験や能力を上げる練習など親も勉強になった。
- ・スポーツマンシップや、栄養学など、体を動かす以外の事を学ぶことができたことが良かった。座学講義がとてもわかりやすく内容も面白く良かった。
- ・プログラムを通して、友達がたくさんできたこと。
- ・子供の運動能力の特徴を把握できたこと。
- ・子どもたちが楽しく参加できており次回はいつ今日はこれが楽しかったとお家での振り返りも多くて有意義だった。
- ・やったことの無い競技に触れる事ができてよかった。
- ・様々なスポーツを色々な競技をしている子ども達と一緒に、体験できたことが、よかったと思います。
- ・スポーツマンシップ研修、運動能力が高い仲間を見て、まだまだ頑張らなければと思えるきっかけになりました。性格、運動能力傾向がわかり良かったです。
- ・プログラムで学んだ内容をすぐに活かされるが多かったことが良かった。例えば、速く走る方法等、すぐに実践、現在でも意識して走っている。
- ・座学、基礎体力向上プログラム、スポーツ体験、バランスの取れたプログラムだったことです。
- ・保護者も一緒に体験したり、スポーツ栄養学も学べたことも良かったです。
- ・動きだけでなく、体づくりや心の持ち方を学べたこと。
- ・運動能力の高いメンバーと一緒に取組む事が出来た事
- ・スポーツマンシップや栄養学など、スポーツ少年団のクラブでは学べないことが沢山あった。
- ・体の動かし方や子ども達へ向けた遊びの提供なども参考になった。
- ・ライフキネティックやウェイトリフティング、フェンシングなど、やったことないスポーツを体験できて子供は楽しそうでした。
- ・講師の選定も良かったです。
- ・同世代で県内トップクラスの運動神経の良い子たちと学べる事でスポーツに対する意識が変わったと思います。
- ・様々な種目や体験でき、子ども自身が興味を持ち取り組めたこと。
- ・一流の講師の方々から学ぶ機会はとても貴重でした。身体を動かすことだけに意識が向いてしまいましたが、スポーツをするうえでの思考・考え方について学べたことはとても良い経験でした。
- ・各回の講師の方々のお話は非常に興味深く子ども達に夢を与えてくれる内容でした。

改善してほしい点があれば教えてください

- ・ 専門学校ではなく、小学校体育館や市民体育館などもう少し広々した場所で運動遊びやライフキネティックをさせてほしい。
- ・ 保護者の観覧スペースについても確保してほしい。
- ・ 興味がある内容の講習日に大会や練習試合などで出席できない日がありとても残念でした。
- ・ そのような場合に代わりに体験できる日を設けてもらう事や動画撮影などしてもらい配信してもらうなど対応してもらえありがたい。
- ・ プロスポーツ選手と触れ合える場があるととっても興味が沸くと思います。
- ・ 一回目の遊びを通して運動能力UPは会場がせまくて少しヒヤヒヤでしたが最終回では二班に分かれてよかったです。
- ・ 子ども達の先生方に対する態度や言葉遣いが気になる時があった。もっと厳しく注意してもいいかなと思いました。
- ・ クライミングの順番をきめて、平等に行わせてほしい。割り込みが多く、自信がない子供は実施回数が少なく、あまり経験できていなかった。
- ・ 親が見学したり、一緒にお昼ご飯を食べると、安心感はあるかと思いますが、その弊害として、子ども同士のコミュニケーションが希薄になってしまっているように感じました。
- ・ もっと具体的に向いているスポーツ競技のアドバイスが欲しい
- ・ 体験したスポーツの協会の窓口も可能であれば、配布、周知してほしい。
- ・ 参加する子供達や父兄などが仲良くなる催しものがあればネットワークが広がったと思います。
- ・ 体験したスポーツや座学等が最初と最後の体カテストにどう関わってくるのかあまりわからない
- ・ 強いというなら、全部のプログラムは見学できていませんので大きな声で言えませんが、もう少し講師と子供が一人一人向き合えたらなと思いました。

今後取り入れてほしいトレーニングや内容があれば教えてください

- ・ トランポリン
- ・ コーディネーションや遊びの中で神経系や体幹等のトレーニングなど
- ・ もっと様々なスポーツに触れる機会をいただきたい！リズムトレーニング等も体験させたい。
- ・ 保護者向けのスポーツアスリート用の栄養管理やメンタル面の支え方
- ・ マットや鉄棒などの体操。
- ・ 保護者も一緒に学べる座学。
- ・ 体操
- ・ 子供のスポーツメンタル論。トップアスリートの講義。子供が憧れ競技を目指す環境づくり。子供の食事についてもっと深く聞きたかった。
- ・ 準備体操などがなぜ必要なのか。や栄養バランス食事などスポーツする為に必要な事。を学ばせたい。

その他、運営へのご意見・ご要望等

- ・さまざまな講師の先生方にご指導いただき、大変貴重で素晴らしい経験となりました。
 - ・子どもも「とても楽しかった、また参加したい」と話しております。特にフェンシングやボルダリングが印象に残ったようです。
 - ・いろんなスポーツに触れられて、とても楽しい2ヶ月でした！運営のみならずご協力いただき本当にありがとうございました。
 - ・育成は中長期の視点で行う必要があると思うので、数ヶ月の取組で終わらず、ぜひ次年度以降も取組を継続してください。本プロジェクトが真のアスリート育成プロジェクトとなることを期待します。
 - ・また今後も続けて行って欲しいです。この体験をもっともっと続けてもらえるとスキルアップに繋がると思う。
 - ・県スポーツをさらに盛り上げるために、まだ埋もれている逸材児童が沢山いると思うので、県内学校との連携を強化して、学校の体力テスト結果などを元に、学校側から児童に参加（選考会にエントリー）を促すことも良いと思います。
 - ・今回はとても充実したプログラムに参加する機会をいただき有り難うございました。近頃のオリンピックをテレビでみて「スポーツマンシップってこれだね」と言ったり意識が変化していることを実感します。これからも広い視野を持ちスポーツや日常生活にも意欲的に取り組んでほしいと思います。
 - ・今回選ばれたことに自信を持ち、毎回参加するのを楽しみにして習ったことを兄弟や友達と実践したりしてたので続けてほしいなと思います。
 - ・地域的に、真ん中の県総合陸上競技場での開催だと、色々な場所の方々も参加できていいのかなと思いました。
 - ・体力測定会を経て、選抜されたことで、部活動に加入していなくても良い測定結果が出せたという自信・自己肯定感を持たせられたことが良かったです。また、測定会や体験プログラムは、支えてくださる指導者の皆さんが子どもに対して思いやりを感じられ、指示も的確で安心できました。また、プログラム体験中、保護者は観覧することもできれば、ずっと付き添う必要もなく安心して預けられる選択肢があったことも非常にありがたく負担がない中で、参加できたこと感謝いたします。違う地域の子たちと関わりを持てたことも良い刺激でした。
 - ・事前にメールで集合時間や流れを配信してくれるのは、すごく見やすくて助かりました。
 - ・今やっているスポーツをふくめ、偏らずバランスのよい体づくりの視点をいただくことができたことが大きな成果です。
 - ・試合に負けても、相手の文句を言わなくなったところに受講内容が心に響いていることがうかがえます。
 - ・1年を通して体験したり、次年度も継続して体験出来るといいと思います。
 - ・とても素晴らしいプロジェクトなので今後もぜひ続けてほしいです。
 - ・予算の関係もあると思いますが、可能であれば南部、中部、北部で開催できるといいなと思いました。
 - ・この度は全6回すべて安心して参加させることができたのは運営がしっかりしていたおかげだと思っています。
 - 少ない回数ではありましたが、子どもの成長に大きく関わってくれたと感謝しています。可能であれば今後も継続して行って欲しい事業だと思いました。
 - ・栄養学講座などの座学に保護者も参加する事ができた。また素晴らしい講師陣に教えていただき良い経験が出来ました。
 - ・もっと保護者を巻き込んでほしいです。一緒に体験するというわけではなく、しっかりと見学できるようにして欲しかった。学んだことは家庭に持ち帰って反復しないと意味がないので、スペースの関係で見学できないにしても、今日はこういうことをやりましたというのをきちんと親がキャッチアップできるような形にして欲しかった。子供を通してではどうしても不十分なので。
 - ・測定結果から何が得意で何が向いているかなど知れて、今後、この子のスポーツ人生に活かされたらなと思います。
 - ・選抜で集まった子はみんなすごく素敵で、いいライバルになって何年後かの競技であの子だ！と活躍してる姿をお目にできることを楽しみにしております。
- 私も親としてできることをサポートしていきたいと思います。ありがとうございました！